

令和7年度 第2回教育課程編成委員会 議事録

2026.03.23 書記：古川

<出席者>

[外部委員]

古川 雅英 新潟県菓子工業組合 専務理事
三島 茂 新潟県司廚士協会 名誉会長
川上 啓介 株式会社シュルプリーズ ルーテシア 代表取締役
村松 寛喜 料亭 一ノ木 特別顧問
渡辺 龍太 株式会社渡森 専務取締役

[学校委員]

[事務局]

渡辺 忠雄 (理事長) 堀 慶
渡辺 弘子 (学園長)
出塚 彩 (校長)
阿部 正一 (教頭)
渡辺 真理子 (事業推進部長)
紫竹 武 (統括本部長)
鈴木 潤 (実習統括部長)

●開会のあいさつ

●令和7年度 教育活動状況報告

[製菓]

●大会

4月 ジュニアカップ出場
7月 パイコンテスト出品
7月 京菓子デザインコンテスト出品
8月 全日本学生マカロンコンクール出品
8月 彩の国ケーキショー出品
10月 技能五輪全国大会 (洋菓子製造出場)
10月 ジャパンケーキショー出品
11月 ローズウォーターレシピアワード出品

●イベント、特別活動等

- ・5月ゆめっせ見学
- ・6月、7月食育活動
- ・7月 ジョブワールド
- ・7月、2月球技大会
- ・9月国内研修旅行
- ・10月ジャパンケーキショー見学
- ・10月海外研修旅行

●産学連携

- ・ 6月サマースイーツフェスタあがの（阿賀野市）
- ・ 7月 献血ボランティア（新潟県赤十字血液センター）
- ・ 9月いのちの電話チャリティバザー（新潟いのちの電話）
- ・ 10月にいがた2km食花マルシェ・万代シテイ（新潟市 農林水産部 食と花の推進課）

●特別授業

- ・ 6月リョウラ・菅又シェフ
- ・ 6月テオプロマ土屋シェフ
- ・ 11月実践的なお菓子写真の撮影講座

●実践的な授業

- ・ 5月いちごスイーツ販売実習
- ・ 7月、9月パティスリー実習
- ・ 11月ショートケーキ販売実習
- ・ 12月クリスマスマーケット
- ・ 3月学園祭

（川上委員）

先生との距離感はどう感じる？

（鈴木委員）

多様なのか、いろんな考え方をもっている学生がいて実感している。

学生がどんな考えを持っているか、一方通行な教えではなく、一人ひとりの反応を見ながらどんな言葉掛けがよいか、考えている。

（川上委員）

就職の面倒は見ないという学校もある。

就職先に学生が直接電話し、研修の約束の取り付けまでする。

面倒見が悪いという印象も受ける。

[調理]

●授業

販売実習

- ・ 北越高校とのコラボ弁当
- ・ 月に1回くらいのペースで行うお弁当販売

●行事

- ・ 1年生向けには大阪への国内研修旅行 万博見学とUSJに行った
- ・ スリランカ料理のカレー講習会 スリランカの伝統的な料理を学んだ
- ・ 卒業年度の保護者会

●食育活動

春から三川の実習田にてお米を育て、10月に無事収穫ができた。
恒例の新米給食会を行った。

●大会

五輪大会では、西洋料理・日本料理でそれぞれ1名が敢闘賞を受賞した
普段の授業では学生の満足度を高めていくことを目指していきたい。
料理を作るということも大事だが、「何を伝えるか」を考え、
現場で必要とされる人材はどんな人だろうかということを伝えていきたい
柔軟性をもって学生たちが楽しくなるような授業をしていきたい

(三島委員)

えぷろんの学園祭はすばらしかったと思う。また個人作品の中で3年生は目を引くものがあった。2年生までの作品とは印象が違い、それまで積み上げた技術が光り、コントラストができていたと思った。業界では機械化が進んでいる。

(村松委員)

活躍の場をどんどん出しているのがすばらしい。

「えぷろんにきて良かった」という感想をもらえる、「憧れ」となることは学生の希望・目標になる。

「どうしたら人の役に立てるのか」ということを学んでいくといいと思う。

(渡辺委員)

イランの関係で乳製品が値上がりがすごくなる

今までは衛生が大事だと使っていた手袋や焼き菓子の小袋が、今は値段が爆上がりしている。まとめ買いもできない状況。

これらが石油からできていることもきっと知らない状態だと思う。

衛生優先から、節約もしていかなければならない時代が来るのかもしれない。

●閉会の挨拶